



故障家電は修理 して使いたい!!

DEレポート No.8

2023年3月

作成者:H.M

 脱炭素経営ドットコム

By DENKOSHA

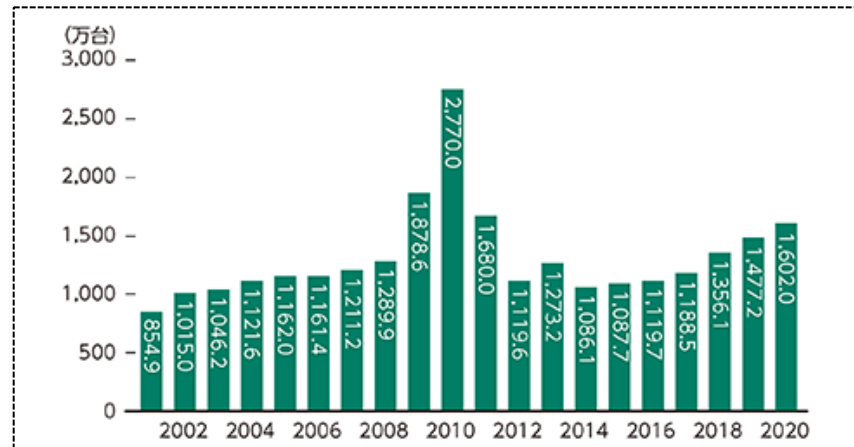
「DEレポート」とは、環境やSDGsに係る社会問題を取り上げ、原因・背景から解決に向けた施策事例や将来の展望までを調査しコンパクトにまとめた報告書です。脱炭素経営ドットコムを運営する株式会社電巧社では、全従業員が本レポートの作成に取り組んでいます。



■ 社会課題

- 故障家電は分解してのリサイクルが進んでいるが、故障したものは修理するよりも買い換えた方が安いとか、修理が不可能なので廃棄するしかないということで、大量廃棄されている。
- 海外通販で家電も海外から簡単に買えるようになったが、それらの製品の修理は、海外へ修理を依頼するコストを考えると廃棄しか選択肢は無い。また、修理に関しては人件費が主で品物の価格に対して高額な修理費となる。
- 家電製品は壊れたら修理するよりも買い換えた方が良いという考えと、壊れた家電製品は、特定家庭用機器廃棄物以外も全てがリサイクルされているのだという間違った認識が広がっており、まずは廃棄せず修理して使うことを働き掛ける必要が有るのではないだろうか。

■ 特定家庭用機器廃棄物の引取台数の状況



出典:環境省、経済産業省

■ 特定家庭用機器(家電4品目)



出典:政府広報オンライン

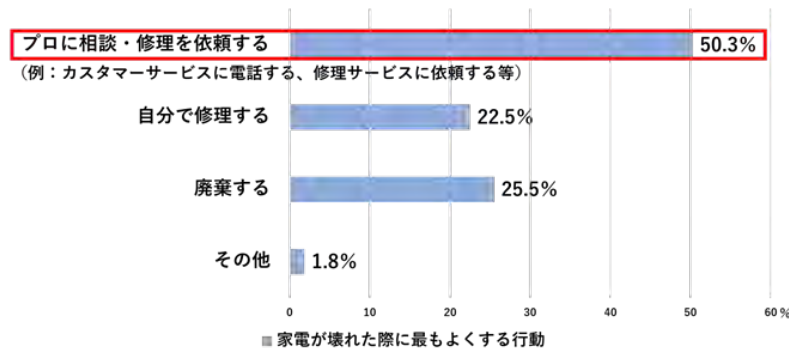
故障家電を廃棄しないためには

■ 解決事例

- 全国には、メーカーが修理を断ったものや、製造メーカーが存在しない製品を修理する事業者や個人が存在し、単に家電の機能だけでなく、製品に関わる思い出も含め、修理して使いたいというユーザーは多く存在する。
 - 修理する事業者はメーカーのOBやアマチュアの趣味の延長上など、技術の継承や自身の経験で確立した方法等を駆使して修理を行っている。また、希少価値のある特定の製品を扱う専門業者も生まれるなど変化は起きている。
 - 修理には多岐にわたる技能が必要であるが、その継承を含め、修理を行える技術者の減少が懸念される。
- 一方、希少価値のある特定製品専門の修理業者以外は、利益的には厳しく、修理事業を継続できる依頼の確保が重要となる。

■ 家電が壊れたときの行動

あなたは、もし家電が壊れた際にどんな行動を取りますか？
普段最もよくする行動を1つ選択してください。



テックマークジャパン「家電の修理に関する意識調査」(2021年9月)
n=400 (全国の20~60代)

出典: テックマークジャパン

■ 家電の修理業者

	会社名	住所
1	家電の修理センター (㈱イーズセンチュリー)	大阪府貝塚市
2	日本家電電化製品修理業協会	東京都港区
3	株式会社サウンドテクニカ	神奈川県藤沢市
4	株式会社アイディ・ブレイン	愛知県名古屋市
5	南予フィールドサービス株式会社	愛媛県松山市
6	株式会社たけだ	広島県庄原市
7	北陸家庭電器サービス株式会社	石川県金沢市
8	株式会社ステップ・ワン	宮城県仙台市
9	リペアーネットワーク株式会社	熊本県熊本市
10	株式会社CSリペアサービス	大阪府大阪市
11	株式会社アールエス・ネットワークサービス	北海道札幌市

出典: Web上を検索し、筆者がリスト化

家電製造メーカーの協力が必要

■ 企業展望

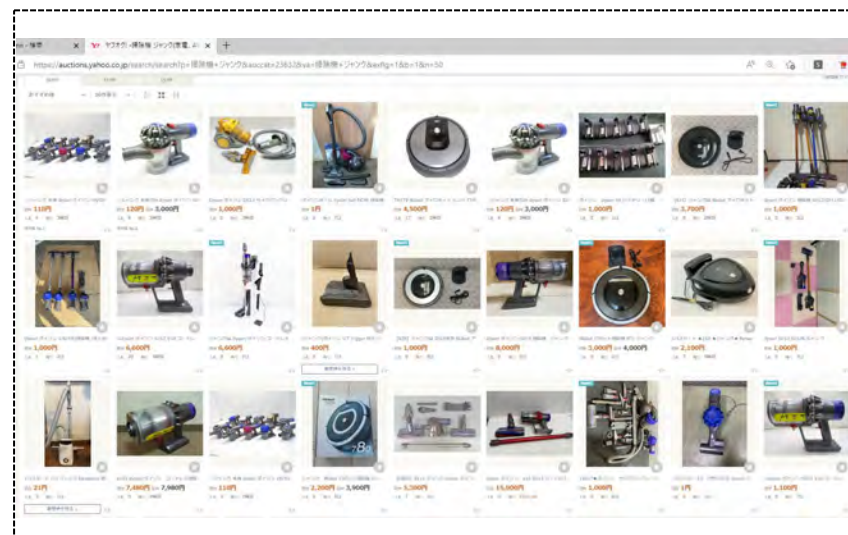
- メーカーが行う修理はあくまでもサービスで有り、修理だけで事業性は無い。また、部品の保有もしかりである。
そのため、古い製品では修理に使う新品部品の調達が困難であり、修理再生を妨げる大きな原因である。
- 供給されない部品は、中古品として流通しているものや、オークションなどでジャンク品として出品されている物を入手して、部品を取り出して使うなど、コストも手間も掛かるため、修理再生されるものはごくわずかである。
- メーカーとしてSDGsの取組は、積極的に行っているが、部品供給を長期にわたり行うこともその一環として重要であることを認識して実行することにより、物を修理して長く使うという意識の醸成に貢献できると考える。

■ 補修用性能部品表示対象品目と保有期間

製品名	年	製品名	年
冷蔵庫	9	石油ストーブ	7
エアコン		洗濯機	6
テレビ	8	炊飯器	
電子レンジ		ラジオ	
扇風機		電気カミソリ	
ステレオ		掃除機	
ポット	5	こたつ	
アイロン		電気ストーブ	
トースター		電気毛布	

出典：全国家庭電気製品公正取引協議会のデータを利用し筆者作成

■ オークションで出品される家電(掃除機)ジャンク品



出典：Yahooオークション

これからの家電製造メーカーの取組が物を長く使う意識の醸成に

■ 参照・引用資料

- 環境省、経済産業省「循環白書」2022年(<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r04/html/hj22020301.html>)
- 政府広報オンライン「家電4品目は正しい処分を」2019年9月2日(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201909/1.html>)
- テックマークジャパン(株)「家電修理に関する意識調査」2021年11月29日(https://www.techmark.co.jp/images/information/pdf/tmj_20211129_research.pdf)
- 家電の修理センター「家電修理サービス」2022年11月8日(<https://www.kaden-shuuri.com/>)
- 全国家庭電気製品公正取引協議会「補修用性能部品表示対象品目と保有期間」2022年11月8日(https://www.eftc.or.jp/code/notation/notation_table3.php)
- ヤフオク「掃除機ジャンク」2022年11月8日(<https://auctions.yahoo.co.jp/>)



<https://de-denkosha.co.jp/datsutanso/>

脱炭素経営とは、再生可能エネルギーを創る「創エネ」、使う電気を減らす「省エネ」、創った電気を貯める「蓄エネ」をうまく活用し、会社・事業で排出する温室効果ガス「0」を目標にする経営のこと。

中小企業の私たちにも、できる取り組みが沢山あることを伝えたい。このような想いで、90年以上「電気」に向き合ってきた電巧社ならではのアイデアが詰まった創エネ、省エネ、蓄エネのソリューションをお伝えできる情報を、当サイトで発信しております。

DEレポートに関するお問い合わせ先はこちらへ

電 気 の コ ン シ ェ ル ジ ュ

DENKOSHA

株式会社 電巧社

〒105-0014 東京都港区芝2-10-4

TEL: 03-3453-2221(本社代表)

担当:DEレポート事務局

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社電巧社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。